

Technician級受験記

JH1RCA/KO6BRL/母袋

老後の金のかからない遊びを考えて、古希受験をやってみようと思った。世界に飛び出してアマチュア無線するのに日本の資格でも良いのだが、米国領内だと米国のライセンスの方が有利。

米国の資格試験は在日米国人のために横浜・横須賀では頻繁に行われている、そこでまず横浜で受けようと思って申し込みをしたものの何の音沙汰もない、催促しても返事がない、今日は試験がないのかなと思ったら15日試験の連絡が10日に来た。

あと4日しか勉強の期間がない。慌てて昨日、今日で受験参考書を作った。Technicianのプール問題をダウンロードして、Google翻訳して、意味がわからないところはChatGPTで聞き直す作業を行った、英文の下に日本語を挟み込む感じでアホでもよく理解できる試験参考書を作り上げた。

参考書を作る最中、出題パターンから正解が分かるようになった、一目みると正解がわかってしまうのである、悲しいことにその割合は5.5%にすぎない、合格ラインは74%なので相当勉強せにゃならん、パソコンで英文ちらつかせながらかつつけてスタバで金・土勉強してみるか。

PS 試験会場のYCACは行くのが楽しみ。ユーチューブ見たら歴史が長い外人が作ったスポーツクラブと云うことが分かった。会員制だけどレストランは非会員でも利用できるとのこと。うまそうなものを見つけよう。落ちても15\$で異国文化にふれられるからね。

古希受験の合格の喜びと今後の苦しみ。

今日横浜中区YCACに米国の無線資格の試験を受けに行ってきた。受験者たった2名、俺一人だったら試験が中止だったかもしれない、だから5日前まで音沙汰なかったかもしれない、取り合えず今日の試験で「Technician」に合格出来た。

米国と日本は相互運用協定があって日本で許可されている範囲で米国で無線が出来るが、なまじ今日取った下位クラスだとそれが優先されて一番やりたい言葉による国際通信が出来なくなってしまう、米国は日本の免許制度とは違うので飛び級が出来ないので今日の試験は必ず通らないといけない通過点であるがこの下位クラスで資格取得を止めると取らなかった方が良くってなる、次のクラス「General」になると問題が解決出来る、これからも苦労が続くって訳だ。

横浜での受験に限ったことかもしれないが試験会場YCACは横浜に居留する外人さんらが作ったスポーツクラブ、今も館内の掲示は英語、お客さんも外人さんが殆どだった、スポーツ施設は会員制だがレストランは非会員でも使える、新しくはないがアメリカぽくていつか利用してみたい。

免許を取るのにお借りした米国の住所Torranceは出張で宿泊したことのあるところ米国にある日本より日本ぽくて美しい町、行きたくなっちゃった。

